

世田谷区 意見を聴く会 議事概要

日時：平成17年12月13日(火) 18時30分～20時00分

場所：砧区民会館

主催：国土交通省及び東京都

協力：世田谷区

参加者：住民35名

国土交通省	山本 東京外かく環状道路事務所長 川端 東京外かく環状道路 副所長 鈴木 東京外かく環状道路 調査課長
東京都	臼田 外かく環状道路担当課長 藤井 外かく環状道路担当 課長補佐
世田谷区	板垣 道路整備部 部長 窪松 砧総合支所街づくり部 街づくり課長 海津 道路計画担当係長

提示資料： 東京外かく環状道路（関越道～東名高速）についての考え方
手続き及び事業の流れと各段階での検討事項
東京外かく環状道路（関越道～東名高速）（狛江市～世田谷区の区間について）
東京外かく環状道路東京圏自動車専用道路網図
外環ジャーナル第19号、第20号
オープンハウス・意見を聴く会で頂いたご意見（世田谷区抜粋）
外環（関越道～東名高速）計画概念図（1/10、2/10、5/10）
東京外かく環状道路（関越道～東名高速）これまでの検討の総括

次第：1 開会 2 あいさつ 3 出席者紹介 4 資料説明 5 意見交換 6 閉会

議事概要

1 開会

2 あいさつ

国土交通省

- ・これまで4年間、外環について様々な意見を頂き、議論をしてきて、今年8月に構想段階の議論に区切りをつけた。国と都で改めて外環が必要であると判断し、9月に外環の「考え方」を発表した。
- ・「考え方」発表の経緯と「考え方」及び「計画概念図」の説明をし、計画の具体化の内容や環境に関するみなさまの意見を伺いたい。

3 出席者紹介

4 資料説明

5 意見交換

意見：おもな意見は以下のとおり。

【外環の本線について】

- ・今回のルートは昭和41年の都市計画線を越え、みつ池や国分寺崖線の下にも入っている。幅が広がった理由を示して欲しい。
- ・計画概念図のオレンジ色のところは他とどう違うのか。
- ・外環の通行料金や他の高速道路と併用した際の料金はどうなるのか。
- ・将来、人口は減るのに交通量は増えるという論理は本当に正しいのか。
- ・外環本線が交差して右側通行になっているのはなぜか。

(回答：国土交通省)

- ・ルートは昭和41年の都市計画線内にできる限り収めるように計画しているが、高架構造から地下構造にしたためさらなる用地を必要とする箇所もある。また、環境施設帯を設置したため計画線の外に出ているところがある。
- ・計画概念図のオレンジの部分はジャンクションやインターチェンジのランプ部と本線が分岐合流する部分である。拡幅工事のための補助工法が必要であり、

現有技術では大深度法の適用は難しいが、今後の技術開発で大深度に収まる可能性もある。

- ・料金は事業主体によって変わり、事業化の段階で決まる。仮に国が事業をすれば原則料金は無料となるが、税金の使用を抑えるために一部を利用者に負担してもらうことも考えられる。最終的には供用の際に決定する。将来はETCの普及で対距離の料金設定も可能ではないか。
- ・右側通行に入れ替えることで、2本の本線トンネルを結ぶ避難路が反対車線の広い路肩側へ出られる。また、ランプ部分が地上部が上がってくるときに幅を狭く計画でき、周辺地域への影響を小さくできる。

【インターチェンジについて】

- ・外環の東名以南を同時に整備しないことで、無駄が生じていることはないか。東名以南の有無による東名ジャンクションの規模や費用の違いを示してほしい。また、ジャンクションが少しでもスリムにならないかぜひ考えてほしい。
- ・東名で止めると東京、高井戸インターチェンジが混雑するのではないか。また料金はどうなるのか。

(回答：国土交通省)

- ・計画概念図では、外環と東名を結ぶランプを3車線にしているが、東名以南を同時に整備すれば交通量的には3車線の必要がなくなる可能性はある。ただし、東名高速と関越道の両側からシールドで掘り進むため、東名ジャンクションのランプは本線と同じ3車線のシールドを用いることから、無駄とは言えない。
- ・外環は環状道路として、通過交通の迂回機能を持つため、外環の内側の東京、高井戸インターチェンジの交通量が減る要素もあるが、一方で、東名高速が終点となるため増える要素もある。推計上の交通量は同等か微増と見込んでいる。交通量の予測は料金等について仮定を置いているが、実際の料金設定は完成供用時に決まる。

【環境影響について】

- ・環境について懸念している。環境省や環境担当部局が、環境の視点から検討すべき。環境担当の部署が同席できないか。
- ・東名高速は国分寺崖線を区切っていて生物の横断ができないので、東名ジャンクションの連絡路は現在の東名の高さを越えないでほしい。
- ・利便性だけでなく他の生物にも配慮する新しい道路計画を考えてほしい。
- ・成城神明の森みつ池は住民が大切にしており、影響を懸念している。
- ・今年はオオタカが営巢に失敗したが、工事等があるとますますその機会がなくなる。
- ・野川は水や生態系に恵まれており、開削工事による影響が心配である。
- ・国分寺崖線は大変自然に恵まれたところであり、ぜひ守ってほしい。このような住民の意見があることを踏みにじらないでほしい。
- ・大深度のトンネルから地上部への振動がないかしっかり調査してほしい。

(回答：国土交通省)

- ・環境については国交省も真剣に考えて対策を行っていききたい。道路整備に関わる環境については、事業者が考えた環境対策について環境省の意見を聴いていく。環境省は総合的な環境行政を司り、このような意見を聴く場に参加することは難しい。
- ・トンネルの地上部への影響は現在、技術的に検討している。

(回答：東京都)

- ・大規模施設の都市計画は、そもそも環境への配慮も含め決定することとされている。

【用地・補償について】

- ・浅深度でトンネル工事をする箇所の住所はどこか。

(回答：国土交通省)

- ・浅深度工事部分の詳細な住所は今わからないが、世田谷通りから野川に囲まれている間と小田急線の辺りまで続く。

【進め方について】

- ・横断図だけでなく縦断図も必要。
- ・地域の意見をどのように反映させていくのか。そのプロセスを知りたい。
- ・住民を無視して道路をつくるのか。住民は認めていない。
- ・住民の意見を聞いたという手続きを踏んだだけとなってはならない。
- ・計画段階で環境の検討をするなら、住民との対話を多くとってほしい。
- ・都市のあり方やランニングコスト等をどのようにやるかや、人口、GDPが減る中でどういう生活をしていくべきか等を住民としっかり話し合うべき。
- ・意見を聞かせてほしいとの姿勢ではなく、自分の意見を言って議論してほしい。
- ・計画を押しつけるのではなく、皆の折り合いをとっていくのがP Iではないか。
- ・外環でのP Iはここが違うというのを見せてほしい。

(回答：国土交通省)

- ・縦断図が必要との意見は理解した。必要な資料についても意見を伺いたい。
- ・まずは外環の必要性から議論してきた。計画段階でも地域のみなさんの意見を聞き、計画に反映させていきたい。「考え方」は案であり、意見をいただきながら見直しもする。

(回答：東京都)

- ・外環の必要性については8月に区切りをつけ、これからは地元の方々がもっとも懸念する環境について説明できるよう計画を具体化していく。